

## 人生で欲しいものを手に入れるときは5つのステップ

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 先週は、公益財団法人の文字・活字文化推進機構の評議員をさせていただいているというお話を致しました。その評議員のお一人に、有名な作家の林真理子さんがいらっしゃって、小さい会合で年に何回かお話をさせていただいています。この前の会合で、林真理子さんに本が大好きな理由などをお聞きしました。林さんのお話によると、ご実家は本屋さんだったそうです。そのため、本が大好きになった林さんは、作家になろうと決意しました。そして、本が売れなくて困ったときにどうしたら本が売れるか考えて、11月1日を「本の日」にしようと提案し、全国の本屋さんと一緒に、よい本をたくさん読んでもらおうという運動をしているそうです。ぜひ林真理子さんの本も読んでいただければと思います、先週のお話に加えて紹介させていただきます。  
違う本屋さんが、11月1日だけが本の日では困ってしまうので、毎日にしてもらいたいというご意見を言っていました、それもそうだなと思いました。とにかく、本を読む方は立派な考えを持ち、立派な行動をする方が多いので、ぜひ本をたくさん読んで素晴らしい生活を、また、人生を送っていただければと思います。
3. さて今日は、私の知り合いの斎藤聖美さんという優秀な方を紹介させていただきます。斎藤さんは、同じ大学を出た同級生で、レイ・ダリオ著の「PRINCIPLES 人生と仕事の原則」を翻訳なさいました。これは、日本経済新聞社から2019年3月20日に刊行された結構厚い本です。私はそれを購入し、今読んでいるところです。人生と仕事の原則、どのようにすれば自分の人生が成功するか・仕事が成功するかということについて非常に具体的に書いてありますので、その一部を紹介させていただきます。
4. 人生で欲しいものを手に入れるときには5つのステップがある、その大事なステップの手順をどのように踏んだらよいのかというお話です。要約すると、1つは、明確な目標を持つことで、これが一番大切です。目標がないと、欲しいものはなかなか手に入りません。例えば、英語が上手になりたいと思ったら、外国の方と手紙のやりとりをするなど具体的な目標、明確な目標を持つことが大事だそうです。

5. 2つ目は、目標達成の障害になる問題を明らかにしてほったらかさないことです。もし英語で手紙を書きたいのであれば、まずはABCから勉強したほうがよいと思います。ABCの次はDで、その次はEというようにしてアルファベット26文字を覚えます。その上で、手紙の書き方、例えば最初に差出人の名前・住所を書き、次に受取人の名前・住所を書くことを覚えます。今はEメールでやりとりする場合がありますので、アドレスをちゃんと書けるようにすることも必要です。それから、綴りがわからなければとても大変です。「私は本を読むことが好きです。」だったら、「I like reading books.」と書かなければ、相手に伝わりません。好きはlikeです。これを書く必要があります。また、本はbookという綴りであることも覚えなければいけません。ですから、もし綴りがなかなか覚えられないのであれば、その原因・問題を明らかにしなければならぬのです。
6. 3つ目は、目標達成の障害になる問題を明らかにしてほったらかさないと決意したら、何が根本原因なのかを探るための診断をすることです。英文が書けないのは、ABCを知らないことが原因かもしれない・日本語の文法と英語の文法は少し違うので、英文の仕組みがよくわかっていないことが原因かもしれないなどと、本当の原因を探って診断することが大切です。
7. 4つ目は、目標達成の障害となる問題を避けるような、回避するような計画を策定することです。適切な英文を書くために、綴りを勉強する計画を立てる。文法を勉強する計画を立てる。そういうことです。
8. 5つ目は、計画ができれば、結果が出るように実行することです。bookの綴りを覚えるときには、書く練習をしなければ覚えられません。また、I have a book.(私は本を持っています。)という文章を書く場合には、文法を少し勉強したり、パターン練習をしたりして、正確に書けるようにしなければなりません。つまり、結果を出すことが不可欠です。
9. このように、人生で欲しいものを手に入れるには、明確な目標を持つ→問題点を明らかにする→根本原因を探るための診断をする→計画を策定する→結果が出るように実行することが必要です。この5つのステップを、皆様とともに私も勉強させていただければと思います。
10. 今日は、「PRINCIPLES 人生と仕事の原則」という本を紹介させていただきました。ちょっと厚い本ですが、皆様にもぜひお読みいただければと思います。